

# 岩戸山ソーシャル寄町プロジェクト ～岩戸山の文化・歴史を参加体験型で継承～

岩戸山ソーシャル寄町

▶担当 吉岡、渡邊、日高 ▶メール info@iwatoyama.jp

## 事業目的・背景

高齢化や住民の減少により、祇園祭の町内運営が住民だけでは立ち行かなくなっていることから、祇園祭に関心のある方々に向けて門戸を開き、実際に町の一員として岩戸山の運営を体験し、祇園祭をもっと身近に感じてもらうことを目的に、岩戸山町内で働く若手が中心メンバーとなって立ち上げた団体である。

岩戸山ソーシャル寄町を通じて、将来的に町の山鉾保存活動にも積極的に関わっていただける方との出会いを増やし、祭りの運営を次世代に託していけるよう、また岩戸山のことを一人でも多く知ってもらう機会にしていきたい。

## 事業概要

岩戸山を知ってもらうために学生向けと一般向けの体験型説明会を実施。歴史文化を学ぶ学生の協力で岩戸山の歴史・美術の勉強会とあわせて、厄除け粽づくりをおこなった。

祇園祭終了後には、これまで岩戸山を運営してこられた町内の方の知見を次世代に継承するために、祇園祭における岩戸山運営の記憶の記録としてインタビューをおこない、冊子を作成する。さらに岩戸山ソーシャル寄町HPを作成し、興味関心のある方が活動を見ることができるようにする予定である。

## 団体の概要

設立日:28年5月1日

## 成果

活動をはじめてまだ数年、団体としては2年目ではあるが、応募してくださる参画者がこの機会を楽しみにリピーターとなっており、口コミでも新たな参加者を巻き込む形で地域文化の理解者を増やしている。メンバーがそれぞれの特技を活かして運営に関わっていることで、人手不足であった町内の方々への負担軽減ができ、町外メンバーが入っても安心安全に祭りのお手伝いができるのだということを町内でも実感されている。

## 今後の予定

保存会とよい関係を築きながら企画運営をすることで、外部の若手メンバーを入れても安心安全に祭りの運営ができるのだということを町内に実感してもらい、後も岩戸山が多くの人に知られ運営が継承される挑戦を続けたい。また保存会にも長く関わってくださる若手メンバーの発掘を行う。30年度もメンバー募集予定。



### 【岩戸山ソーシャル寄町体験型説明会と勉強会】

28年、岩戸山ソーシャル寄町に参加した歴史専攻の大学生を講師に招き、岩戸山伝説の紹介や岩戸山に使われている懸想品の説明を行った。また、28年の参加経験を活かして、(宵山期間に)観光客から質問されることが多い岩戸山に関する予備知識や、メンバーになるとどのようなことを担うのかを発表した。また、この日はちょうど「くじ取り式」の日であったため、式に出席した理事も駆けつけてくださり、岩戸山の話をしていただいた。



### 【厄除けちまき作り体験】

宵山期間に販売する厄除け粽作りをおこなった。30年度以降も新メンバーにわかりやすく共有できるように、講師の説明を描きおこすグラフィックレコードを活用した。



### 【宵山運営】

祇園祭に関わる機会の少ない地域にある大学との地域連携プログラムとして、授業「京都の歴史と文化」で岩戸山ソーシャル寄町の紹介をおこない、多くの学生が運営に参画した。学生にとって観光客とのふれあいも貴重で楽しい経験となったようだ。